

【ドライセンター】 リスクアセスメント実施表

対象職場	参加者	実施年月日	リーダー	書記
ドライセンター		2015.1.26		

◎リスク見積

(1)負傷または疾病の重篤度の区分

重篤度	見積点	被災の程度・内容の目安
致命的・重大	×	死亡災害や身体の一部に永久的に損傷を伴うもの 休業災害(4日以上のもの)、一度に多数の被災者を伴うもの
中程度	△	休業災害(4日未満のもの)、一度に複数の被災者を伴うもの
軽度	○	不休災害やかすり傷程度のもの

(2)負傷または疾病の発生の可能性の区分

発生の可能性	見積点	内容の目安
可能性が高い 比較的高い	×	毎日頻繁に危険性又は有害性に接近するもの かなりの注意力でも災害につながらり回避困難なもの
可能性がある	△	故障、修理、調整等の非定常的な作業でも危険性又は有害性に時々接近するもの うっかりしていると災害になるもの
可能性がほとんどない	○	危険性又は有害性の付近に立ち入ったり、接近することが滅多にないもの 通常の状態では災害にならないもの

◎優先度の決定<(1)~(2)の見積点によりリスクを評価します>

リスク	リスクの見積				優先度
Ⅲ	×	×	△	△	直ちに解決すべきまたは重大なリスクがある。措置を講じるまで作業停止する必要がある。十分な経営資源(費用と労力)を投入する必要がある。
Ⅱ	×	○	△	○	速やかにリスクの低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。措置を講じるまで作業を行わないことが望ましい。優先的に経営資源(費用と労力)を投入する必要がある。
Ⅰ	△	○	○	○	必要に応じて低減措置を実施すべきリスクがある。必要に応じてリスク低減措置を実施する。

作業名 (機械・設備)	危険性又は有害性と 発生のおそれのある災害	リスク見積				リスク低減措置案	措置実施後のリスクの見積り				措置 実施日
		重篤度	可能性	総合	優先度		重篤度	可能性	総合	優先度	
DCピッキング手仕分 (フォークリフト・カゴ車・仕分・カット台)	作業者の範囲の中でフォークリフトの運行しているために、作業者がフォークリフトに轢かれてしまう可能性がある。	×	△	×△	Ⅲ	フォークリフトを除くことは、現状不可能なために、フォークリフトが動くときにはフォークリフトの運転手が「動くよ!!」等の声がけをするようにルール化する。フォークリフトや作業者の導線を一方通行にする。フォークリフトが完全に停止した状態から商品を取り出すようにルール化する。	×	○	×○	Ⅱ	2/1
DCピッキング手仕分 (フォークリフト・カゴ車・仕分・カット台)	空カゴ車や棚板等が作業のスペースに無造作に置かれ、人とフォークリフトの死角になってしまい、互いにぶつかってしまう可能性がある。	×	△	×△	Ⅲ	作業ラインの外に専用の置き場を作り、空いたカゴ車や棚板は定位置に保管するようにする。	×	○	×○	Ⅱ	2/1
DCピッキング手仕分 (フォークリフト・カゴ車・仕分・カット台)	カゴ車ですれ違いの時に他人の足を轢いてしまう可能性がある。	△	△	△△	Ⅱ	作業の導線を一方通行に決めて、作業するようにする。	△	○	△○	Ⅰ	2/1
DCピッキング手仕分 (フォークリフト・カゴ車・仕分・カット台)	パレットの片付けを手でやっている。腰痛の恐れ、足の挟まれ、手の挟まれの危険性あり。	×	○	×○	Ⅱ	ベルクパレット(13.5Kg)以外のパレットは、二人で運搬するようにする。なるべくフォークリフトを使用して、運搬するようにする。	△	○	△○	Ⅰ	2/1